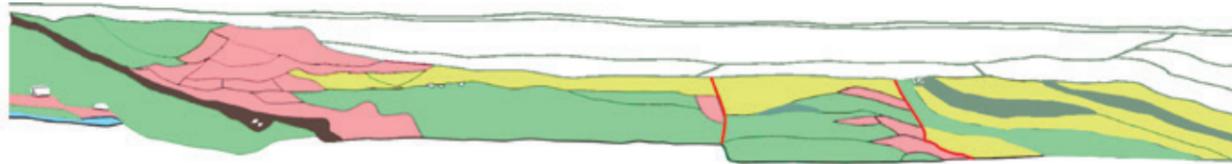


←山側



1回目の造成 2回目の造成 3回目の造成

- 地山岩盤の風化礫を含む水はけの良い層
- 炭化物が混じる層
- 粘土質で土留めの役割を果たす層
- 黒褐色の層
- シルトの層
- 地山に沿った中世以前の耕作土

性質で色分けした中世造成土の一部土層



土師質土器の皿出土状況(下段)

全く異なる！下段と上段の出土品

下段では土器片をたくさん発見しました。どれも土師質の皿であり、器形が1種類しか出ていないので、生活空間ではなく法要などの祭祀を執り行う特別な空間であったことが伺えます。

上段からは、茶道具や中国製の貿易陶磁器など、当時の高級品や屋根に葺かれた瓦が出土することから、平坦面ごとに用途が異なっていたと考えられます。



中世の造成土(下段)



出土した貿易陶磁器(上段)



出土した土師質土器(下段)

■ 問い合わせ／生涯学習課文化財係
0888・8002・6062

おわりに

調査にあたり、地権者様をはじめ、地域住民の皆様には多大なるご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。今回紹介した現地説明会資料は、文化財係(南州市立田405)や市役所3階生涯学習課などで配布しています。

今年度は岡豊山に注目！

平成20年に国の史跡に指定された岡豊山の岡豊城跡は、今年で15周年を迎えます。今年度は引き続き瑞応寺発掘調査を進めるとともに、15周年の記念行事を開催する予定です。今後、当紙面などで情報を掲載する予定です。ご覧ください。

まとめ

岡豊山北麓にある2か所の平場(下段・上段)を発掘した今回の調査では、長宗我部元親が活躍していた時代に広大な平坦面が造られたことや、平坦面の用途が下段と上段で異なることなどが分かってきました。

下段で中世の平坦面を発見！

下段にあたる最も広い平坦面は、中世に造られたものであることが分かりました。元々あった谷の緩やかな斜面に山を削った土を人工的に盛るといった大規模な造成により、広大な平坦面を造り出しています。造成の土は、地山岩盤を砕いたものを混ぜ込んで水はけを良くした土や、雨が降っても土が流れないよう土留めの役割を果たす粘土質の土など、用途によって使い分けた土を適所に盛っています。

さらに、1度造った平坦面を広げるために2度目・3度目の造成を行っていることもわかりました。3度目造成後の広さは約860㎡で層数は40層以上にも及びます。加えて、1度目の造成土内には土器が全く含まれないのに対し、2度目以降の造成土には土師質土器の皿や鉄を溶かす際に使われた道具類が含まれることから、1〜3度目の造成までに時期差があることがわかります。

埋蔵文化財 発掘調査

長宗我部一族の寺跡



元親が尊敬する父・国親と母の追善供養のため、岡豊山北麓に建立した瑞応寺。その痕跡を求めて発掘調査を実施しました。調査では、長宗我部元親が活躍した時代の大規模な平坦面を発見！出土品も交えてご紹介します。

岡豊山北麓風景

調査の結果

今回の調査では、瑞応寺があったとされる岡豊山北麓に複数ある平坦面のうち、2か所(下段・上段)を調査しました。

元親や土佐の人々にとって瑞応寺は特別な寺であり、城を現在の高知城がある大高坂に移した際には、瑞応寺も岡豊から現在の高知市洞ヶ島町に移されました。

元親の子孫で土佐国出身の吉田孝世が江戸時代に記した『土佐物語』によると、瑞応寺は長宗我部元親が尊敬する父・国親と母を弔うために建立した寺であるとされています。志半ばで亡くなった国親の遺志を継いだ元親は、乱世の世において国親の遺言通り涙の間もなく立て続けに戦をして、法要の勤めを行う時間もありませんでした。吉良・朝倉を攻め取るなど、国親の思いに恥じない功績を立てた元親は、老臣に相談して瑞応寺を建立することによって国親と母を弔うことができました。

瑞応寺ってどんなお寺？

南国市の岡豊山には戦国大名である長宗我部氏の居城として知られる国史跡・岡豊城跡があります。『長宗我部地検帳』や『土佐物語』などの記述によると、その北麓に長宗我部氏の菩提寺である瑞応寺という寺があったとされていますが、その姿は謎に包まれています。

そこで、南国市教育委員会では当時の様相を明らかにしようと、令和4年12月〜令和5年3月にかけて発掘調査を実施しました。

発掘調査のきっかけ

南国市の岡豊山には戦国大名である長宗我部氏の居城として知られる国史跡・岡豊城跡があります。『長宗我部地検帳』や『土佐物語』などの記述によると、その北麓に長宗我部氏の菩提寺である瑞応寺という寺があったとされていますが、その姿は謎に包まれています。

そこで、南国市教育委員会では当時の様相を明らかにしようと、令和4年12月〜令和5年3月にかけて発掘調査を実施しました。



調査区風景